

# 工業会活動

## 平成26年航空機生産額は前年比2,300億円の増額

経済産業省が2月16日に公表した機械統計（確報年計値）に基づき、平成26年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比2,300億円（16.8%）増の1兆5,956億円となった。平成24年は減額に転じたものの、25年から大幅な増額に転じており、年間としては過去最高の生産額となった。

内訳は、防衛向けが前年比72億円減の4,470億円、民間向けが2,372億円増の1兆1,487億円となっている。

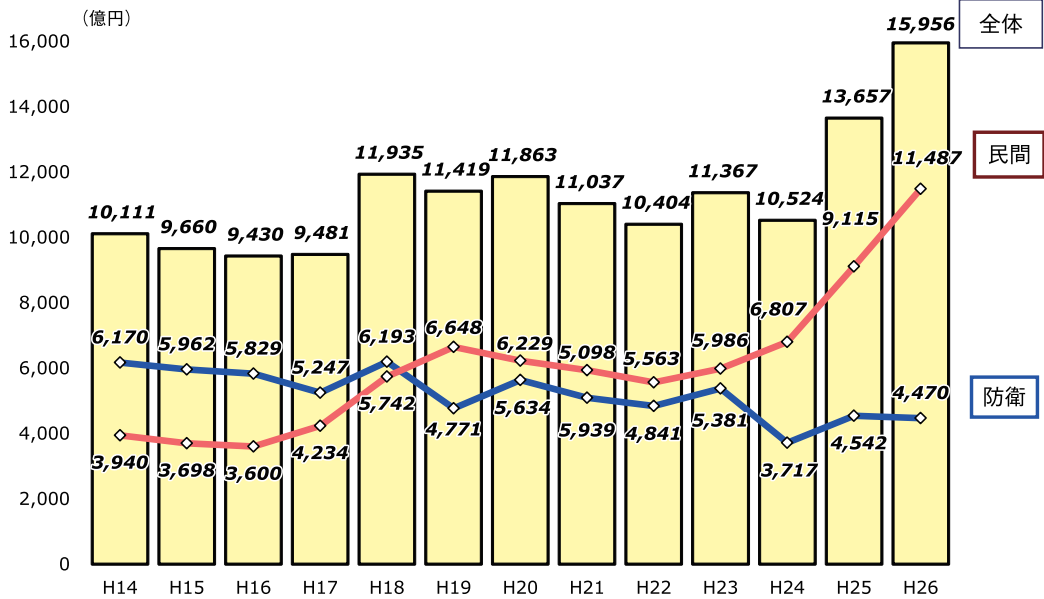
品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが昨年とほぼ同じレベルの2,715億円となったが、民間向けが主力のボーイング777や787の生産増等により昨年実績を1,812億円上回る7,364億円となったため、機体全体では前年より1,804億円（21.8%）増の1兆78億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが157億円の減となったが、民間向けが549億円の増となり、エンジン全体では前年より392億円（9.1%）増の4,683億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛向けは92億円増、民間向けが11億円増となり、前年より103億円（9.4%）増の1,195億円となった。

また、全体額の防需と民需の比率は28%対72%と前年から民需がさらに上回り、平成19年以降連続して民需比率が50%を超える状況が続いている。防衛機調達機数はP-1哨戒機の生産開始などにより減少傾向に歯止めがかかったものの、民間航空機の国際共同開発案件で、近年生産機数の拡大が図られていることに伴い民需比率が増大する傾向にあったが、今年も民需比率の増大傾向の定着を確認することとなった。

なお、平成26年の品目別防需比率は、機体関連 27%、エンジン関連 18%、その他機器 78%となっている。

上記のように、我が国の航空機生産は増勢基調にある。今後については、防衛向けでは予算の制約等により調達機数の大きな伸びは望めないが、P-1固定翼哨戒機やC-2輸送機の量産移行に伴う調達が継続しつつある。また、民間向けではボーイング社の受注機数がかここ数年で増加基調にあるとともに、平成26年末の受注残高は過去最高値を更新したこともあり、日本企業はボーイング社から生産レートアップを要請され、生産設備増設等を進めている。こうした状況を踏まえると、生産の増勢傾向は当分継続するものと考えられる。

### 航空機／国内生産額推移



### H25年とH26年の区分別比較

(億円)

区分	H25年 確定値(H26.5月)			H26年 確報年計値(H27.2月)			差 (H26-H25)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	634	0	634	623	19	642	△11	19	8
		部品	1,039	5,209	6,248	1,015	6,958	7,972	△25	1,749	1,724
		小計	1,673	5,209	6,881	1,637	6,976	8,614	△35	1,768	1,732
	エンジン	本体	150	3	153	137	3	140	△13	0	△13
		部品	580	2,931	3,510	468	3,435	3,903	△112	505	393
		小計	729	2,934	3,663	605	3,438	4,043	△125	505	380
	その他機器	655	207	861	763	227	990	108	20	128	
合計	3,057	8,349	11,406	3,005	10,641	13,646	△52	2,293	2,241		
修理	機体	本体	601	148	750	607	189	797	6	41	47
		部品	448	194	643	470	198	668	22	4	25
		小計	1,050	343	1,392	1,077	387	1,464	28	45	72
	エンジン	本体	222	348	569	205	399	604	△17	51	35
		部品	31	28	59	15	22	37	△16	△7	△23
		小計	253	376	629	220	420	640	△33	45	12
	その他機器	183	48	231	167	38	205	△16	△10	△26	
合計	1,486	766	2,251	1,465	846	2,310	△21	80	59		
全体	機体	本体	1,235	148	1,383	1,230	208	1,438	△5	60	55
		部品	1,488	5,403	6,891	1,485	7,155	8,640	△3	1,752	1,749
		小計	2,722 (33%)	5,551 (67%)	8,274 (100%)	2,715 (27%)	7,364 (73%)	10,078 (100%)	△8	1,812	1,804
	エンジン	本体	371	351	722	342	402	744	△29	51	22
		部品	611	2,959	3,570	483	3,457	3,940	△128	498	370
		小計	982 (23%)	3,309 (77%)	4,291 (100%)	825 (18%)	3,858 (82%)	4,683 (100%)	△157	549	392
	その他機器	838 (77%)	254 (23%)	1,092 (100%)	930 (78%)	265 (22%)	1,195 (100%)	92	11	103	
	合計	4,542 (33%)	9,115 (67%)	13,657 (100%)	4,470 (28%)	11,487 (72%)	15,956 (100%)	△72	2,372	2,300	

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

(出典: 経済産業省 機械統計)

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部 杉原 康二〕